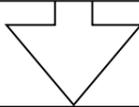


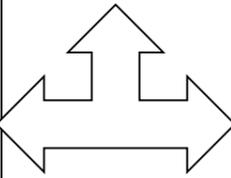
〈学校教育目標〉
 未来を創る
〈目指す児童生徒像〉
 ～挑戦 自律 真摯～
 ○将来の夢と志をもち、その実現に向けて挑戦する児童生徒
 ○時を守り、場を清め、礼を正し、学びを求める児童生徒
 ○自ら課題を見付け、その解決に向けて、常に努力し続ける児童生徒

【情報教育の目標】
 (1) 情報活用能力の育成
 ・ 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する。(収集・判断, 表現・処理・創造, 発信・伝達) — 情報活用の実践力
 ・ 情報活用の基礎となる情報手段の特性を理解し, 自らの情報活用を評価・改善する。 — 情報の科学的な理解
 ・ 情報モラルの必要性や情報に対する責任を理解し, 情報を適切に扱う。 — 情報社会に参画する態度
 (2) 情報機器 (ICT 機器) の活用
 ・ タブレット (ロイロノートやインターネットなど) を活用し, 確かな学力を育成する。



学年	情報活用の実践力			情報の科学的理解	情報社会へ参画する態度 情報モラル
	収集・判断	表現・処理・創造	発信・伝達		
1	教師が提示した資料から必要なものを選ぶことができる。	タブレットの操作に慣れる。	写真や作品をもとに、タブレットで交流することができる。	タブレットの各部の名称を理解し、起動、終了、タッチやスワイプなどの基本操作ができる。	友だちと仲良くタブレットを使ったり教え合ったりすることができる。
2		アプリを利用して簡単な作品を作ることができる。			
3	インターネットを利用し、知りたい情報を調べることができる。	アプリを利用して、絵や文字を組み合わせた作品を作ることができる。	ロイロノートのシンキングツール (思考ツール) を使って、自分の考えをまとめて発信することで、思考を深めることができる。	インターネットの性質と正しい情報を選択する必要性を理解する。 (3年) インターネットの情報に古くなってしまっているものがあること理解する。 (情報モラル)	インターネットを興味本位で利用することなく目的にあった利用ができる。 (3年) 友だちどうして作品などを交流する際に大切に扱う。 (情報モラル)
4		ローマ字入力をすることができる。			
5	インターネットを利用し、目的にあった情報を判断し収集できる。	タブレットを利用して、目的にあった効果的な表現ができる。 (5年) プログラミングを使って、多角形をかくことができる。(算数)	スライドなどのアプリを使って、自分の考えをスライドにまとめて発信することができる。	電子メールの特性を知り、ウイルスや不適切な情報から自分を守る方法を理解する。 (5年) コンピュータウイルスの意味を知り、予防とその対策を理解する。 (情報モラル)	掲示板の書き込みやチャットなどチェーンメールの対応など自分や他人の人権を大切にされた対応ができる。 (5年) 掲示板等を利用する際のマナーを理解し、人を傷つけるような行動をしないようにする。 (情報モラル)
6		考えたことを「LINE BOT」を使って発信することができる。			

【情報教育の進め方】
 ○ 教科や総合的な学習の時間における活動の中で、「情報」についての指導を取り入れる。
 (年間5～10時間)
 ○ 情報モラルについての指導は、学級活動、道徳科等の時間に行う。
 ○ 教職員の ICT 研修を設け、情報教育に関する理解と技能を深める。
 ・ 児童が活用するソフトの利用 (ロイロノートの活用法・キュビナのワークブックの作り方)
 ・ 情報モラルの確認
 ・ タブレットの日常的な活用
 ○ ホームページの更新を計画的に行う。



【情報の管理】
 ○ 暗号化 USB を適正に管理し、セキュリティシステムを有効に活用する。
 ○ 出席、成績、健康に関するデータなど児童、保護者に関する個人情報の扱いに配慮する。
 ○ ホームページ等に児童の写真に掲載する際は、保護者の許可を得て、掲載の仕方に配慮しながら行う。